

36th International Conference on Coastal Engineering (ICCE2018)で 研究成果を発表しました(2018/7/30-8/3)

テーマ：海岸工学

場所：アメリカ・ボルチモア

2018年7月30日から8月3日にアメリカ・ボルチモアで開催された、36th International Conference on Coastal Engineering (ICCE2018)で、有働恵子准教授(災害リスク研究部門)の以下の研究成果2件が発表されました。ICCEは1950年から70年近くにわたって隔年で開催されている海岸工学に関する国際会議で、今回の会議では500件以上の発表があり、700名以上の参加者があったということです。次回は2020年にオーストラリア・シドニーで開催されます。

口頭発表：

Chatuphorn Somphong, Keiko Udo, Sompratana Ritphring, Hiroaki Shirakawa, and So Kazama

Adaptation Assessment To Future Beach Loss Due To Sea Level Rise In Thailand

Keiko Udo, Yuriko Takeda, and Roshanka Ranasinghe

A Comprehensive Analysis Of Measured And Computed Depth Of Closure Around The Coast Of Japan

※下線：研究所構成員



ICCE2018での口頭発表の様子

文責：有働恵子(災害リスク研究部門)